

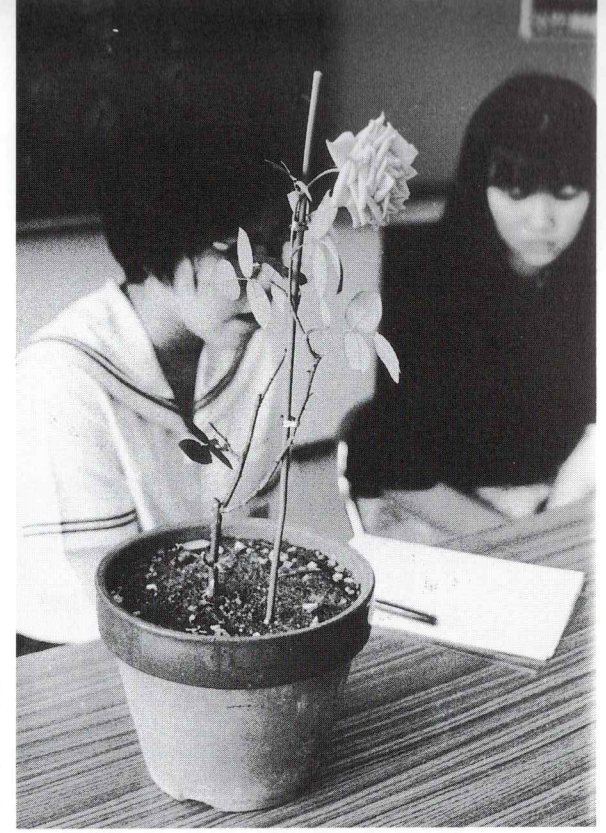


久保山すずさん (中央)、(左) 焼津中・高校生 (右) 隆多ゼミ生



久保山すずさん宅の庭、右側の白壁にバラが見える。

久保山「海老とま」
大木路広
隆多ゼミ



久保山バラ

にしていたバラを分けてもらえないかというお願いも書かれてあった。
すずさんは、愛吉さんの形見でもあるバラを三五年間丹精こめて咲かせつづけてきた。そのうち、赤とピンクのバラを四本さし木してくれた。バラは焼津の三・一ビキニデーに参加したゼミ顧問に手渡され、今農業高校で育っている。反ファシズムの象徴「アンネのバラ」のように、反核の象徴「久保山バラ」が全国の学校の花壇に平和教材として色彩りを添える日を待ちたい。

てつづけていって下さい」と僕たちの活動に共感してくれました。
その後、故久保山愛吉さんの墓前を訪ね、一人一人線香を手に哀悼の意をつくしました。
追手前高校 岡村佐由紀

○「久保山バラ」
平和の旅でのすずさんとの出会いが、自分の生き方を見つめ直す契機になった。その感動を胸に、女生徒が心から感謝の気持ちを手に綴った。この礼状には、愛吉さんが大切